

## 2 目標達成計画

事業所名： グループホームかっこう

作成日： 平成30年3月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今年度「水害・土砂災害の防災体制整備及び避難行動計画」を策定したが、まだ職員への周知が十分に出来ていないことと、非常食等の準備も不十分である。	避難行動計画に則した避難訓練(机上含む)の実施と、避難確保資機材の準備を行う。	①火災時の避難訓練を例年デイサービスセンターと合同で3日間行うが、そのうちの1日を水害・土砂災害と想定して訓練を実施する。 ②非常食を長期備蓄ではなく、適宜使用しながらも必要量を確保していく体制として実行する。	6 か月
2	29	「お茶っこ飲み会」で近隣との交流を図っているが、近隣で実施されているカフェ事業等との参加者の重複もあるので、今後「お茶っこ飲み会」の開催方法の検討が必要。また、子供との交流をもっと図っていけないか検討の余地がある。	①利用者の笑顔が引き出せ、子供たちにも認知症を理解して頂く機会としての交流を図っていく。 ②近隣の高齢者の暮らしにもプラスになる地域交流の在り方を検討していく。	①地区公民館で行われている学童との交流を図れないか、担当者と検討していく。 ②「外館地区盆踊り」「下有住地区収穫祭」などに単なる参加ではなく、かっこうとしてのアトラクションを計画してみる。	12 か月
3	41	栄養士に食事メニューを評価して頂いたところ、様々な指摘(同じ食材を多用しているなど)を受けた。また、血糖値が上昇した利用者、太り気味の利用者もいたため、食事内容の見直しが必要と感じている。	①食事バランスに注意して調理が行える。 ②医師の指示に沿ったカロリー摂取が行えるように、ご飯の量を調整する。	①調理者があっても1日の食事バランスを考えられるように、献立表を改良する。 ②ごはんの量を計量して、必要量を提供する。(実施済み)	1 か月
4	30 31	地域の医療機関が1ヶ所であるため、緊急時の医療体制・医療連携に不安がある。また、家族の協力が得られない場合の診療への付き添いは、職員体制によっては負担が大きい。デイサービスが休みの時や夜間、看護師の協力が得られにくい。	利用者・家族、職員が安心できる医療体制を確保する。	①看護師の配置(来年度から実施予定) ②利用者・家族が了解した場合、主治医を訪問診療医に変えることも検討していく(緊急時など電話などでいつでも指示を仰げる利点がある)。	6 か月
5					か月